

【NEWS RELEASE】

2025 年 7 月 3 日

各 位

株式会社三井住友銀行

事業共創施設「HOOPSLINK」の開設について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：中島 達、以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）傘下の株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下、「三井住友銀行」）は、東京都千代田区にある新丸の内ビルディングに新たな事業共創施設として、「HOOPSLINK」を開設いたしました。

1. 背景・目的

我が国では、少子高齢化や、貧困・格差、地政学的リスク、異常気象など、企業を取り巻く社会課題や事業課題は多様化し、複雑化しています。そうした課題を克服し、日本の再成長に向けて邁進していくためには、生成 AI、Web3、サイバーセキュリティ等、新しいテクノロジーの活用が不可欠と考えております。

SMBC グループは 2017 年 9 月から 2025 年 4 月まで、「新しい出会い・アイデア・挑戦」が生まれることを目的としたオープンイノベーション拠点「hoops link tokyo」を運営して参りました。2017 年当時は、国内のスタートアップ企業に注目が集まり始めた時期で、SMBC グループがスタートアップ企業を支援しながら新しいビジネスの創出に取り組むことで、多くのスタートアップ企業と出会い、ネットワークの構築に注力しておりました。

2025 年現在、国内のスタートアップ企業を支援する制度・施策が拡充され、スタートアップ企業の数も増加しており、資金支援だけではなく、具体的なビジネスを共に創出することを目指す段階に来ております。

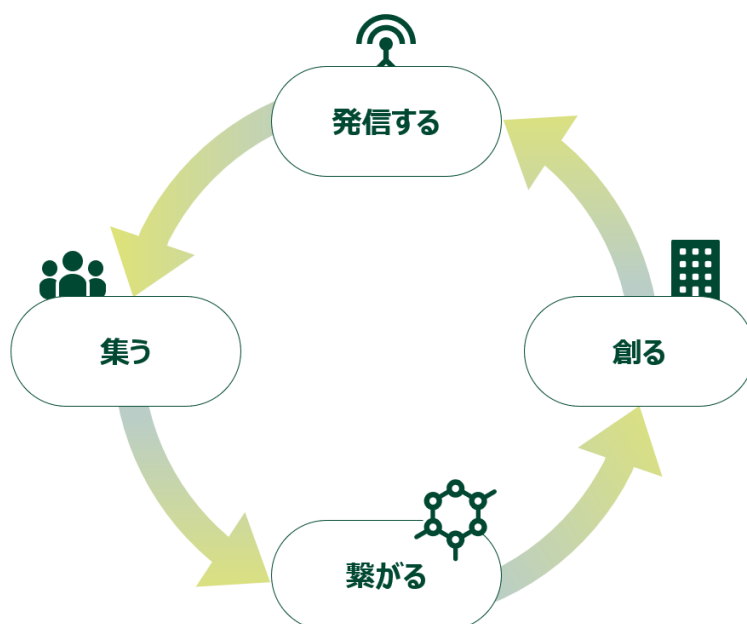
このような状況下、SMBC グループが、スタートアップ企業のみならず様々なパートナーと新しいビジネスを創出するために、三井住友銀行の本社がある大手町に近く、多くの大企業が集まる丸の内に事業共創施設「HOOPSLINK」を開設するに至りました。

2. HOOPSLINK の取組概要

HOOPSLINK では、これまで三井住友銀行が築き上げてきたネットワークを生かし、生成 AI や量子コンピューターなどの先端技術や社会・事業課題の理解深化に向けたセミナーやワークショップを実施し、ビジネスの可能性を見つけるとともに、実験的なプロジェクト等にも参加して参ります。

また、ステーブルコインの事業化検討（※1）や AR グラスの活用（※2）など、将来的に有効なビジネスの可能性の具体化や、これまで立ち上げてきたデジタルビジネスの更なる拡大に向け、ユーザーを巻き込んだ新しいサービスや新たな価値の創造に取り組めます。

加えて、取組や成果を情報発信することで、共感・賛同いただけるパートナーが集い、SMBCグループと繋がっていくことで、新たに事業共創できるエコシステムの構築・拡大を目指します。



<参考>

※1：[ステーブルコインの事業化に向けた共同検討に係る基本合意書の締結について](#)

※2：[AR グラスを活用した新しい購買体験における実証実験開始について | 株式会社三井住友フィナンシャルグループのプレスリリース](#)

3. 施設概要とロゴについて

施設名称	HOOPSLINK
所在地	東京都千代田区丸の内 1 丁目 5-1 新丸の内ビルディング 15 階
運営事業者	株式会社三井住友銀行
開業	2025 年 7 月 3 日
主な活動内容	-HOOPSLINK での取組、成果の情報発信 -先端技術の理解深化に向けたイベント・セミナー -ビジネス共創のためのワークショップ・実証実験
ホームページ	https://hoops-link-tokyo.com/ 詳細につきましては、HP にて随時掲載します。

これまでの「hoops link tokyo」から、大文字の「HOOPSLINK」という一つの単語とし、社会的なインパクトをもたらす事業開発を行うブランドを目指す姿勢を表現しています。そして、ロゴは、1本の線で花模様を描くことができる「バラ曲線」をモチーフとし、多様なステークホルダーと繋がりながら、共に事業を紡ぎ出していくという想いを込めました。

<ロゴ>



HOOPSLINK

<施設イメージ>



以 上